

創立 13 周年 ～夢と希望と笑顔あふれる新生小学校～



しんせい 1月号

[http:// www.tachikawa.ed.jp/es20/](http://www.tachikawa.ed.jp/es20/)

メール： tachikawaes20@seagreen.ocn.ne.jp

平成 29 年 1 月 10 日
立川市立新生小学校
校長 佐藤 邦彦
立川市富士見町 6-69-1
TEL 042-524-3148
FAX 042-529-0993

2017年のスタート

校長 佐藤 邦彦



新年明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。

冬休みの間、子どもたちは幸い大きな事故やけがも

なく、楽しく過ごせたようです。ご家庭での、きめ細かなご指導に感謝いたします。

さて、皆様新年をどのように迎えられたでしょうか。初夢はご覧になったでしょうか。正月のテレビ番組の中で、初夢に関するクイズがありました。問題は、「縁起の良い初夢は、一富士二鷹三茄子（いちふじにたかさなすび）」と言いますが、では四番五番六番は何でしょう？」という問題でした。さてさて……。正解は、「四扇（しおうぎ、よんせん）、五煙草（ごたばこ）、六座頭（ろくざとう）」でした。3番目までは、「富士＝無事・鷹＝高く・なすび＝ことを成す」という縁起を担いだ語呂合わせからきているそうです。四番以降については、1番から6番がそれぞれ結びついていて、「富士と扇＝末広がりで子孫や商売繁盛を願う」、「鷹と煙草の煙＝上昇する運氣上昇を願う」、「茄子と座頭（剃髪した盲目の按摩師）＝毛がないので怪我なしと洒落て家内安全を願う」という組み合わせになっているようです。何とも、江戸時代の人々の迷信深さとちょっと洒落っ気のある思いに、にやっとしてしまいます。

今年1年、皆様、そしてお子様はどんな夢や目標をもたれたでしょうか。3月の修業式・卒業式まであと54日ほどです。1年のまとめをしっかりとし、来るべき次年度の備えをするときです。夢や目標の実現に向かって欲張ることなく、こつこつと努力を続けることが大切だと思います。授業中にがんばって発表すること、学習した漢字の読み書きや計算を正確にできるようにすること、苦手だった縄跳びや鉄棒ができるようになること、忘れ物をせずきちんと持ち物をそろえて授業に臨むことなど、身近で小さなことでも良いので、自分の目標や課題をしっかりともち、夢に向かって努力を続けて欲しいと思います。しかし、なかなか努力しても目に見えそうな成果として現れないときもあるでしょう。いやになってやめてしまおうと思うときがあるかもしれません。しかし、子どもたちに課題はそう簡単には実現しないこ

とが当たり前だということを実感させることも大切なことです。焦らず、あきらめずにこつこつと続ける大切さを小学生の時に実感して欲しいと願っています。そして、その応援団としてご家族や学校が後押しを続けるのだと考えます。

「1月は行く、2月は逃げる、3月は去る。」と言われています。昔から時間に関係することわざはたくさんあります。少し、調べてみました。

「光陰矢のごとし」

「歲月人を待たず」

「少年老いやすく学成りがたし」

「一日の遅れは十日の遅れ」

「今日の一針、明日の十針」

「時は金なり」

どのことわざからも、時間の大切さが伝わってきます。日野原重明さん（2011年10月4日に100歳を迎えた聖路加国際病院名誉院長）が書かれた本のあとがきの中で、『「いのち」は誰にも平等にあります。1日1日の時間の中に、いのちがあるのです。その時間をみんなのいのちとして大切にしてほしいのです。いのちを無駄にしないということは、時間を無駄にしないこととなります。人が生きていくうえで、もうひとつ大事なことがあります。それは、「こころ」です。お互いに手をさしのべあって、一緒に生きていくこと。こころを育てるとは、そういうことです。自分以外のことのために、自分の時間を使おうとすることです。』と書いています。学校は、時間と共に、子どもたち、お家の方々、地域の方々と活動しています。学校が、この大切な時間をどう使うかによって、人を、そして、地域を変えていく重要な場所だと考えています。



2017年は干支の10番目、酉（とり）年です。

酉年はなにか新しく物事を始め、挑戦するにはグッドタイミングとされています。さらに「とり」は「とりこむ」にも通じ、良いご縁や商機をばんばん取り込む、商売繁盛の1年でもあるのです。

皆様にとって良い年となりますよう祈っております。

